

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おりーぶ瑞ヶ丘		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	R6年10月21日		～ R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者本人と保護者からの満足度が高いこと	・季節ごとにイベントを設定し、集団での支援も行っている。	・子どもの様子にあったイベント、そして内容を検討し実施していく。
2	子どもたちの特性に合わせた、スタッフの専門性を活かした支援の実施	・スタッフ一人ひとりの資格を活かし、子どもに合わせた専門性の高い支援を、集団または個別で行っている。	・引き続き、長期休暇中等に集中して支援を行えるようプログラムを組んでいく。
3	広いスペースが確保できている	・子どもにとって広く、分かりやすい環境設定に努めている。	・引き続き環境の維持と、状況に応じた設定に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現段階で、保護者会ができていない	・個別の面談を希望される方が多かったため。	・要望があったため、今後開催できるように検討していく。
2	活動の様子を報告する場が少ない	・普段の様子を見ていただく機会を設けられていない。	・保護者様方に様子を見に来ていただける日を設ける。
3	性教育について	・現在まで、低学年の利用者が多く必要性を感じていなかった。また、男性スタッフがいないため、男児に対する適切な指導法を理解しているスタッフが利用者に対して少ない。	・今後、スタッフの研修会等で体制を整え、利用者に対しては様子に応じて適切な指導を行えるようにする。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おりーぶ瑞ヶ丘		公表日		R6年12月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・学習と遊びのスペースが分けられているため、切り替えやすいと思う。 ・とても広く、また、学習スペースと遊ぶスペースが分かれているのも良いと思う。 ・遊ぶスペースと学習スペースをしっかりと区切っている。 ・学習スペース、多動スペースが分かれているので良い環境である。利用者	・スペースは広くとることができるため、引き続き活動内容に合わせた環境設定を適宜行っていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	・利用人数(時間帯)によっては、職員数が少ないと感じる。	・スタッフの配置を検討する必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・プログラムが見やすい場所に置かれている。	・空間の構造化や必要な情報を伝達するためのツールなどは整っているため、子どもの特性に合わせた活用を継続していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・清潔に保てていると思う。	・毎日の清掃を継続していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・静養スペースはソファで休むことができる。	・子どもの様子、健康状態によって個別で休んだり、スタッフとの面談をしたりするスペースが設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・職員間での情報共有→改善は当日あるいは次の日にできている。	・勤務日数や時間によって業務改善のための話し合いに参加することが難しい職員はいるが、業務連絡ノート、口頭、その他様々な方法で共有、意見を募るなどして、業務を改善できるような体制が整えられている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・年に1回保ご者に評価していただいている。	・保護者の方々の評価を基に、業務内容を見直している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・2ヶ月に1回職員会議で話し合うことができている。	・2か月に1度の職員会議での話し合いだけでなく、日々、職員全体で活動内容や児童の様子など業務全般に関する話を適宜行っており、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	・わかりません ・現在は実施していない。	・必要となる事案が起きていないため、外部評価が必要にならないように業務を継続していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・毎月法人内で研修を行っており、必要に応じて外部の研修にも参加している。 ・月に1回は社内・事業所内で研修を行っている。	・月に1度の事業所内研修に加え、外部の研修にも積極的に参加し、その内容を職員に共有している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・活動やイベント等を通して周知することができる。	・集団での支援プログラムは活動やイベントを通し公表されており、個別の支援に関しては連絡帳等で保護者方にお知らせしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	7		・6ヶ月に一度の見直し、保ご者とのモニタリング、職員間でのカンファレンスはしっかりできていると思う。	・今後も適切にアセスメントを行い、個別支援計画を作成していく。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・カンファレンスを行っている。 ・保ご者とのモニタリング前後で職員間でのカンファレンス会ぎを行うことができている。	・カンファレンスを行い、児童の様子や今後の課題について共有、検討を行うことができている。	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・職員でのカンファレンスを行い、作成された計画を共有して支援を実施している。	・引き続き計画や支援方法の共有を行い支援していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・わかりません ・アセスメントの作成はできているが、日々の確認はできていない。	・日々の記録により適応行動の様子を簡潔に記録している。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・移行支援と地域支援の課題設定が難しい。	・移行支援と地域支援・地域連携の課題設定が難しいが、アセスメント結果を基に子どもの支援に必要な項目と、具体的な支援内容が設定できるようにしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員の話し合いの中で決めることができている。	・引き続き活動プログラムの立案は個人で行わず、支援を実施するスタッフで話し合い決定していく。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・季節に応じてプログラムを設定することができている。	・プログラムが固定化しないように、季節ごとや子どもの発達段階に応じたプログラム内容を設定できるよう努めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7		・モニタリングでの保護者の方々の意向や子どもの様子に応じて、個別活動、集団活動を適宜組み合わせた支援を行っている。	・保護者の方々と活動内容を共有し、ご理解いただきながら支援の実施ができるよう、今後も取り組んでいきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・当日ないしは前日に、児童の様子や支援について話し合い、実践することができている。	・状況によっては予定していた分担に変更が生じることもあるが、声をかけ合い連携をとって支援が行えていると思うので、継続していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・気づいた点、改善すべき点などについては職員間でよく共有や話し合いができています。	・職員間での共有ができていたため、引き続き、連携して支援ができるよう努めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・毎日の記録を残しており、児童の様子等が残るように徹底している。	・支援の改善策などは口頭で話し合うことが多いため、業務連絡ノートなどにその内容を記載するなどして残しておく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・モニタリングを行い、本人やその家族の意向に沿った支援ができるよう、定期的に見直しを行っている。	・今後も適宜見直しの必要性を判断しながら、見直しを行っている。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		・学習支援を通して日常生活の充実と自立支援を図るだけでなく、創作活動が自由に行えるような環境設定と、余暇時間を提供できるようなプログラムの設定をしている。	・地域との交流の機会も提供しているが、他にも要望があればさらに充実させられるように、検討の対象にしていきたい。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・環境の構成や、プログラムの設定、または職員の関わりにおいて、自己選択ができるように配慮している。	・年齢・発達に応じて選択の幅が広がれるよう、職員の共通理解の上で支援にあたる。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・現段階ではサードが必要ない利用者がないが、開催される場合は児発管が参加するようにする。	・必要があれば、子どもの状況を理解している児発管が参加するようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・必要性を感じない。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・必要性を感じない。要望があれば交流を検討しても良いと思う。	・現段階では必要性を感じていないため、要望があれば交流を検討する。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎や電話連絡の際に、状況を保護者と伝え合い、達成した課題や新しい課題について共通理解を持てるようにしている。	・なかなか連絡がつきにくいご家庭もあるが、各種の方法で共通理解が図れるように努めていきたい。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・保ご者からの要望があれば行って良いと思う。	・要望があれば、個人的に対応する。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・下校時の申し送り、電話、お知らせ等で学校との共有ができています。	・下校時の申し送り、電話、お知らせ等で今後も学校との情報共有を行ってきたい。	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・児発との共有はできています。（児発から上がってくる利用者がほとんどなので）	・同法人の児童発達支援事業所から上がってくる方がほとんどであるため、今後も情報共有と相互理解に努めていきたい。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・進学とともに利用がなくなっているため不明。 ・卒業生がまだいない。	・卒業される際には、支援内容等の情報を提供できるようにする。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	・会社で参加している。	・法人で参加できている。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時にご説明している。	・保護者の方と対面で説明し、同意をいただいている。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・必ず保ご者様とご本人の意向を聞いた上で作成するようにしている。	・モニタリングを通して、ご家族や本人の意向を確認できているため、今後も継続する。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・作成後は内容をお伝えするようにしている。	・作成後は内容をお知らせし、同意をいただいている。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて、助言や支援を行っている。	・必要に応じて、面談、電話、書面での助言と支援を行っている。 ・今後も適宜面談や電話の機会を設けて、助言や支援ができるように努めていく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・現在は実施していないが、保ご者からの要望があれば実施しても良い。	・現在は個別面談に対するニーズが、より高いため保護者会は実施していない。要望があれば実施を検討したい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談・苦情があった場合は早急に対応できるように心掛けている。	・相談・申し入れに対応する体制はできているため、今後も迅速かつ適切に対応できるようにする。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月の通信(HUG)、インスタなどで活動内容をお知らせできている。	・定期的な各種SNSやお便り等での連絡を継続していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・鍵付きロッカーに保管している。	・名前の記載があるものはシュレッダーにかけ、SNSにアップするものは適切に処理するなど徹底し、今後も個人情報の取り扱いには十分留意していく。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童や保護者の様子に応じて伝達手段や、その頻度等に配慮している。	・引き続き、意思疎通や情報伝達ができるように、適切に掲示物や表などのツールを用いていく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・法人で月に1回のフリーマーケットを開催しているので事業所で参加している。	・法人で月に1度開催しているフリーマーケットに参加し、地域住民との交流の機会になっている。
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて面談の実施、相談・助言を行っている。	・今後も必要に応じて面談の実施、相談・助言を行っていく。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルの策定、訓練の実施を行っている。	・職員には事業所内での研修を通じて内容を周知し、児童も含めた訓練を実施して発生時の対応について確認、改善の検討を行っている。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPをもとに、避難訓練、机上訓練を行っている。	・様々な状況を想定した訓練を実施できるようにしたい。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・利用開始前に必ず情報共有している。	・服薬等については、書類に記載していただき契約時の面談で共有している。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・アレルギーの利用者がいない。	・アレルギーのある子どもが入所した際には、医師の指示書に基づく対応を周知・徹底する。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・事業所内で安全計画に関する研修を行っている。	・運行表による、送迎車での安全管理の徹底や、適宜研修・行政からの通知の周知を行い安全管理についての共通理解に努めている。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・体制が変更された際には、送迎時や電話での連絡やお知らせにて周知している。	・今後も保護者の方々へ説明、周知を徹底し、ご理解とご協力をいただけるように努めていく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット報告書を通して、共有・再発防止についての検討を行っている。	・環境要因など、すぐに改善できるものについては可能な限り迅速に対応できるようにしている。
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会への参加、事業所内研修を通して、適切な知識・相談機関の周知を図っている。	・虐待のリスクの理解や、職員一人ひとりの専門性の向上に努め、適切な対応が取れるように環境を整えておく。	

60	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p>	7	<p>・他害のある利用者にもみ、個別に記載し、保ご者様の同意を得ている。</p>	<p>・組織的に決定できる体制が整えられており、決定した利用者にもみ、個別支援計画への記載と、本人・保護者への説明・同意を得ている。</p>
----	---	---	--	--